

基本理念と基本構想

1. まちの将来像

軽米町のまちづくりの基本は、町民が自分たちのまち＝軽米町に愛着と誇りを持ち、共に住み、共に暮らしていく、夢のある郷土とすることです。

豊かな自然の恵みと彩り、
歴史と食文化の薫るにぎわいのまち

2. まちづくりの基本理念

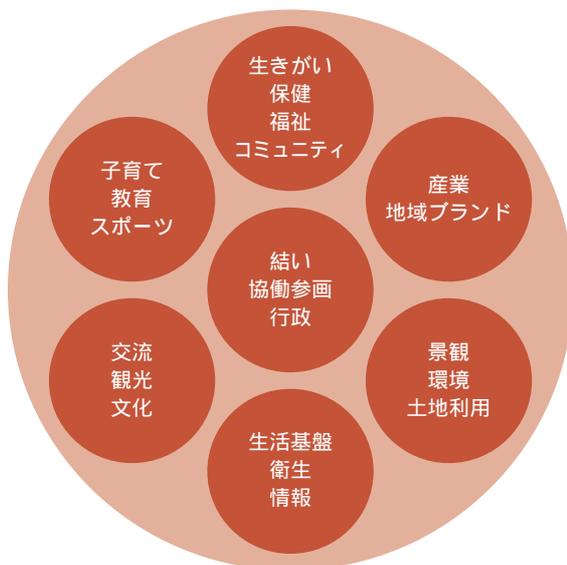
軽米町ではこれまで計画的なまちづくりを進めてきました。

新軽米町総合発展計画では、これまでの理念を受け継ぎながら、まちづくりの基本的な考え方と大きく変化する社会情勢を勘案して、新たなまちづくりの基本理念と、それに対応する7つのキーワードを次のように設定します。

「郷土に夢と誇り」

軽米町に愛着と誇りと夢を持ち、共に住み、共に暮らしていく日本一のわが郷土

7つのキーワード



3. 将来指標の考え方

これまでの国勢調査の実績をもとに今後の人口を推計すると、10年後の平成32年は8,450人前後になることが予測されます。日本の総人口が減少している中、大きく人口増加を見込むのは難しい状況ではありますが、そうした社会状況を踏まえ、総合発展計画の将来指標として、多様な2つの人口「定住人口」、「交流人口（観光・来訪者人口）」を基本指標として設定し、取り組んでいきます。

（1）目標定住人口：平成32年 人口9,300人以上

軽米町では、子育て支援、子育て施設（保育園・幼稚園）の充実を図り、医療費の無料化拡大、高等学校までの教育関係費の負担軽減を町独自で行うことや産業振興により雇用を確保し人口の減少を最小限にするようにします。平成32年の定住人口9,300人以上を目指します。



（2）目標交流人口（観光・来訪者人口）：平成32年 人口40万人/年

「交流」が盛んになることにより、経済的な効果が発生するほかに、交流によって情報がもたらされ新たなビジネスが生まれることが期待されます。そこで軽米町の新たなまちづくりでは、交流人口をひとつのまちづくりの指標にし、40万人の交流人口を目指します。



4. 新軽米町総合発展計画の体系

まちの将来像である「豊かな自然の恵みと彩り、歴史と食文化の薫るにぎわいのまち」を実現するため、下図の基本方針を定めて進めていきます。

